

公益社団法人日本臨床細胞学会  
2021年度第1回理事会議事録案

日時：2021年4月17日（土）11：15～12：40

場所：日本臨床細胞学会事務局 地下2階会議室

WEB同時開催

役員総数：42名（理事 39名、監事 3名）

出席総数：理事 37名

（理事）青木 大輔, 石井 保吉, 板持 広明, 伊藤 潔, 伊藤 仁, 井上 健, 伊豫田 明, 植田 政嗣, 榎本 隆之, 小笠原 利忠, 岡本 愛光, 小田 瑞恵, 加藤 久盛, 川本 雅司, 小松 京子, 齋藤 豪, 佐藤 之俊, 生水 真紀夫, 進 伸幸, 田畑 務, 都築 豊徳, 中村 直哉, 羽場 礼次, 廣岡 保明, 藤井 多久磨, 前田 一郎, 松浦 祐介, 三上 芳喜, 宮城 悦子, 森井 英一, 森谷 卓也, 矢納 研二, 山口 倫, 横山 正俊, 横山 良仁, 若狭 朋子, 渡利 英道

（監事）長村 義之, 佐々木 寛, 土屋 眞一

（2021・2022年度理事候補者）阿部 仁, 有廣 光司, 澁木 康雄, 田尻 琢磨, 長尾 俊孝

（総務委員会委員）山下 博

（総務委員会幹事）和田 直樹

（国際交流委員会幹事）西野 幸治

（制度審議委員会幹事）佐々木 陽介

（中田会計事務所）中田 ちず子

先ずWeb会議システムにより、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる仕組みとなっていることが確認された。

本議事録において定款第23条第3項で定める理事長、副理事長及び常務理事の職務執行状況報告については\*印を付す

本理事会の開催にあたり、\*佐藤之俊 理事長、\*川本雅司 副理事長 [事務局運営・編集・渉外]、\*齋藤豪 副理事長 [総括・財務・専門医制度・専門医・臨床研究]、\*中村直哉 副理事長 [認定試験・検査士・教育]、\*森谷卓也 副理事長 [学術・国際交流・IAC] の挨拶および報告が行われた。

\*理事長挨拶・報告（佐藤之俊）

新たな理事候補者と評議員候補者繰り上げを中心に本理事会で相談申し上げたい。私が次期理事長候補として選出されている。また、理事候補の方々から各種委員会委員長等を選任

し、円滑な業務の申し送りが出来るような体制を作りたいと思っている。最終的には6月5日の春期大会の総会で承認されて新しい体制がスタートするが、その前に業務が滞りなく進むように御協力をお願いします。

\*副理事長報告（川本雅司、齋藤豪、中村直哉、森谷卓也）

・川本副理事長：次の新しい体制のために制度の見直しや投稿規定の見直しなどがあるので、本日もご審議をお願いします。

・齋藤副理事長：現在、新しいがん検診に対する細胞診専門医の在り方を考えるということで、今後、専門医の魅力を増すように努力している最中である。

・中村副理事長：今年の試験・セミナー等で大変ご苦労された先生方に御礼申し上げるとともに、今年も今年のノウハウを活かして試験・セミナー等、大変だが宜しくお願いする。

・森谷副理事長：学術関係については前田先生を中心に粛々と進んでおり大変ありがたいと思っている。国際関係はコロナ禍のため進んでいないが、ポストコロナを見据えて何らかのアクションを起こしたいと考えている。

前回（2020年度第4回理事会）議事録について

2020年度第4回理事会議事録の確認が行われた。

総務庶務報告（2021年4月7日現在）

全会員数：12,833名

（正会員 5,675名、準会員 6,933名、名誉会員 38名、功労会員 172名、図書会員 15件）

細胞診専門医および細胞診専門歯科医数：3,101名（実数）

（認定：細胞診専門医 3,760名、細胞診専門歯科医 104名）

FIAC：112名 MIAC：35名

細胞検査士数：7,927名（実数）（認定 10,563名）

CT(IAC)：4,206名

物故会員：3月の理事会以降、今回の理事会まで、幸いなことに物故会員は0名

大会準備状況

・第62回春期大会（生水真紀夫、幕張メッセ・国際展示場8ホール、〔現地開催〕2021年6月4日（金）～6日（日）〔Web開催〕2021年6月18日（金）～7月11日（日））

・第60回秋期大会準備状況（廣岡保明、米子コンベンションセンター BIG SHIP・米子市文化ホール、2021年11月20日（土）～21日（日））

・第63回春期大会準備状況（岡本愛光、グランドプリンスホテル高輪、2022年6月10日（金）～12日（日））

- ・第61回秋期大会準備状況（伊藤潔、仙台サンプラザホテル・ホールメルパルク仙台・ホテル仙台ガーデンパレス、2022年11月5日（土）～6日（日））
  - ・第64回春期大会準備状況（藤井多久磨、名古屋国際会議場、2023年6月9日（金）～11日（日））
  - ・第62回秋期大会準備状況（横山正俊、福岡国際会議場・福岡サンパレスあるいは、マリメッセ福岡、2023年11月4日（土）～11月5日（日））
- の準備状況に関する報告が行われた。

### 報告事項（その他）

1. 2021・2022年度年間スケジュールについて予定表の提示・報告が行われた。

2. 新しいがん検診スタイルに適応した細胞診専門医あり方検討WG

第1回 2月20日

第2回 3月16日

第3回 4月13日

#### 構成メンバー

斎藤 豪（委員長 副理事長）

森井英一（総務委員長）

佐藤之俊（理事長）

前田一郎（学術委員長）

植田政嗣（専門医会長）

三上芳喜（婦人科細胞診領域）

伊藤 仁（検査士会長）

森定 徹（日本婦人科がん検診学会）

小田瑞恵（渉外広報委員長）

佐々木寛（監事 日本人間ドック学会関係）

#### WG立ち上げの目的

各種がん検診における細胞診の貢献度は広く認識されている。こうした中、子宮頸がん検診に関して、2020年7月には国立研究開発法人国立がん研究センターより「有効性評価に基づく子宮頸がん検診ガイドライン更新版」が公開された。今後も各種がん検診について、エビデンスに基づくガイドラインの更新が継続されていくと考えられる。このようながん検診を取り巻く環境の中で、細胞診専門医は検診のスタイルを理解し、その変化に柔軟な対応を行っていく必要があると思われる。

そこで、本学会において、がん検診における細胞診専門医の方向性を議論するための「新しいがん検診スタイルに適応した細胞診専門医あり方検討ワーキンググループ」を、理事長諮問委員会として新たに設置した。

#### WGとしての答申

・細胞診に関する検体採取や精度管理について教育し、さらに検体採取―診断―精度管理に精通した臓器別エキスパートを日本臨床細胞学会として作る。

・社会的ニーズとして先ず子宮がん検診を含む婦人科細胞診から始めるが、今後他臓器にもエキスパートを広げてゆく。

#### 名称案

細胞診の精度管理アドバイザー（子宮頸部部門）

細胞診断精度管理アドバイザー（子宮頸部部門）

→名称案について、理事長に決めていただくとの提案があったが、最終的に委員会戻しとなった。

#### 審議事項

##### 1. 2020 年度事業報告案について（理事長 佐藤之俊）

以下の 2020 年度事業報告案が可決された。

\*\*\*\*\*

#### 2020 年度公益社団法人日本臨床細胞学会事業報告（案）

##### 1. 臨床細胞学に関する学術研究の推進並びに学術集会の開催

###### ① 学術集会等を通じた研究・教育の普及および広報

###### 1) 第 61 回（2020 年）春期大会 佐藤之俊大会長

会期：2020 年 6 月 20 日（土）～7 月 19 日（日）

会場：WEB 開催

###### 2) 第 59 回（2020 年）秋期大会 伊藤仁大会長

会期：2020 年 11 月 21 日（土）～22 日（日）・12 月 11 日（金）～27 日（日）

会場：パシフィコ横浜・WEB 開催

###### ② 班研究活動への助成による学術研究

2020 年度の班研究課題を公募し、2 題の応募があった。学術委員会選考会にて審議した結果、小穴良保氏より応募された「乳腺線維腺腫、葉状腫瘍の、FNAC の LBC 検体を用いたゲノム変異の検出、および乳腺 US, MMG の時系列データと病理結果により未来予測する人工知能、の研究」が採用された。

###### ③ 学会研究活動

「一般住民を対象とした子宮頸がん検診における液状化検体細胞診と HPV DNA 検査との併用法の有用性を評価する前向き無作為化比較研究」について継続して研究を行った。

###### ④ 学会賞・技師賞・最優秀論文賞の授与およびその論文発表

学会賞（応募者 1 名）：青木大輔

技師賞・学術部門（応募者 1 名）：梅澤 敬

技師賞・功労部門（応募者 1 名）：三宅真司

最優秀論文賞（応募者 和文 1 名・英文 3 名）：現在選考中である。

## 2. 臨床細胞学に関する教育普及事業

### ① 講習会およびセミナーの開催

講習会	開催日	開催地・実施委員長
第 129 回細胞検査士養成講習会	2020 年 6 月 29 日 (月)～7 月 11 日(土)	東京医学技術専門学校 伊藤 仁→中止
第 45 回細胞診断学セミナー	2020 年 8 月 24 日 (月)～30 日(日)	WEB 開催 教育委員会委員長
第 79 回細胞検査士教育セミナー	2020 年 8 月 22 日 (土)～9 月 5 日(土)	WEB 開催 阿部 仁
第 80 回細胞検査士教育セミナー	2020 年 10 月 19 日 (月)～11 月 8 日(日)	WEB 開催 田路 英作
第 80 回細胞検査士ワークショップ	2020 年 7 月 18 日 (土)～19 日(日)	秋田大学医学部第 2 講義室 阿部 一之助→中止
第 81 回細胞検査士ワークショップ	2021 年 3 月 20 日 (土)～29 日(月)	WEB 開催 横山 俊朗

## 3. 臨床細胞学に関する渉外・広報事業

- ① 診療報酬改定に係る活動を行った。
- ② 子宮の日：都道府県にて子宮頸がん検診推進活動を行った。
- ③ ホームページやメールを通じての広報活動を行った。
- ④ 関連他団体との連携を行った。

## 4. 臨床細胞学に関する細胞診専門医並びに細胞検査士の資格認定、更新に関する事業

### ① 細胞診専門医、細胞検査士の資格認定者数、資格更新者数

#### 1) 2020 年度細胞診専門医

- ・資格認定者数 56 名
- ・資格更新者数 626 名

#### 2) 2020 年度細胞検査士

- ・資格認定者数 253 名（内学生受験合格者 74 名）
- ・資格更新者数 0 名

### ② 教育研修指導医の資格認定

- 1) 2020 年度教育研修指導医の認定者数 48 名
- 2) 2020 年度教育研修指導医の資格更新 更新なし

5. 細胞診断の質を維持、向上させるための施設認定、研修に関する事業

① 細胞診を用いた検診等を実施する団体等への施設認定、細胞診専門医を育成するための教育研修施設認定

1) 2020 年度施設認定

- ・新規施設認定 17 施設
- ・総認定施設数 862 施設
- ・認定資格更新 62 施設

2) 2020 年度教育研修施設認定

- ・新規施設認定 3 施設
- ・総認定施設数 329 施設
- ・認定資格更新 更新なし

② 第 8 回コントロールサーベイ（外部精度管理）を実施した。

参加施設 822 施設

6. その他前条の目的を達成するために必要な事業

① 国際細胞学会（IAC）の資格認定や連携（合同シンポジウムの開催など）

1) 2020 年度 IAC 資格更新 145 名

試験は 2020 年度は実施無し

② ゲノム診療時代における細胞診のあり方検討ワーキンググループ。

ゲノム診療における細胞診検体取扱いの標準化に向けた実証データ取得およびそれに基づくガイドランスの作成。

③ ゲノム時代における呼吸器細胞診検体処理の精度管理ワーキンググループ。

ゲノム診療における呼吸器細胞診検体処理の標準化ならびに精度管理に向けた検討

④ 肺癌細胞診の診断判定基準の見直しワーキンググループ。

肺癌細胞診の診断基準の改訂と国際基準の策定

⑤ IAC Yokohama System 乳腺細胞診ワーキンググループ。

⑥ 細胞診専門医教育研修指導要綱改訂ワーキンググループ。

⑦ 地域連携の活動。

⑧ 国際交流事業（日韓、日中、日タイ、日米との共催事業、豪州との人事交流、カンボジアへの支援を実施）→中止

⑨ 臨床試験（CITRUS study など）の遂行。

⑩ 細胞診ガイドライン改訂ワーキンググループ。

⑪ 新しいがん検診スタイルに適応した細胞診専門医あり方検討ワーキンググループ。

\*\*\*\*\*

2. 2020 年度決算案について（計理委員会 岡本愛光）

コロナ禍などの理由で前回より増減が目立つ費用項目を中心に詳細な説明報告が行われた後、審議が行われ、2020年度決算案が可決された。なお、公益目的事業が1,191,579円の赤字で、法人会計が41,140,823円の黒字であることについて、次回は法人会計の黒字を減らすようにする方針が確認された。

3. 会員資格停止者について（総務委員会 森井英一）

会費3年滞納者の会員資格停止が可決された。

4. 会員資格復帰希望者について（総務委員会 森井英一）

春期大会・理事会にて会費滞納により退会処分されたが、復会願いを提出してこられた以下2名の復会が可決された。

- ・奥寺光一（財団法人医療と育成のための研究所清明会弘前中央病院 呼吸器内科）
- ・仲間美育（沖縄県立宮古病院 検査）

5. 推薦理事一覧（総務委員会 森井英一）

2021・2022年度理事候補・副理事長候補・推薦理事候補・監事候補が一覧表（五十音順）で提示され、提示された方々で可決された。

6. 2021・2022年度委員会構成について（総務委員会 森井英一）

2021・2022年度委員会構成案が提示され、異議なくこの案が可決された。

7. 繰り上げ評議員一覧（総務委員会 森井英一）

上記5. 推薦理事一覧の可決により繰り上げられた推薦評議員候補が一覧表（五十音順）で提示され、提示された38名の方々で可決された。

8. 最優秀論文賞受賞者審査結果について（学術委員会 前田一郎）

和文は該当なし、英文は大河戸 光章先生「**Koilocytic changes are not elicited by human papillomavirus genotypes with higher oncogenic potential**」とすることが可決された。

9. 評議員選挙における査読ポイントの扱いについて（編集委員会 矢納研二）

編集委員会で評議員申請前のしかるべき時期に全査読者に査読証明書を発行する、もしくは学会ホームページ上のマイページに査読証明を掲載すること、そして、点数化に際しては、論文の採択・非採択に関わらず、査読に携わっていただいた場合に一つの論文査読につき1単位とすることが可決された。

筆頭者が非学会員の場合を赦す投稿規定の改定案も併せて承認された。

10. 細胞診専門医資格認定試験施行細則改定案（細胞診専門医委員会 植田政嗣）

以下が可決された。

\*\*\*\*\*

【改定前】

受験資格

受験出願者の資格は，細胞診専門医委員会がそれを審議した後に与えられるが，下記に掲げる条項を満たさなければならない。なお，既に細胞診専門医の資格を有する者は出願できない。

- 1) 医師，歯科医師資格取得後5年以上の者。
- 2) 本法人及び関連学会において細胞診断学の研修を受けた者で，研修期間（会員歴）は本法人で3年間以上を原則とするが，関連学会の専門医については，別に定める。



【改定後】

受験資格

受験出願者の資格は，細胞診専門医委員会がそれを審議した後に与えられるが，下記に掲げる条項を満たさなければならない。

- 1) 医師，歯科医師資格取得後5年以上の者。
- 2) 本法人及び関連学会において細胞診断学の研修を受けた者で，研修期間（会員歴）は本法人で3年間以上を原則とするが，関連学会の専門医および歯科医師については，附則に定める。

附則

日本病理学会専門医、日本産科婦人科学会専門医などの日本専門医機構で定めた基本領域18学会の専門医および総合診療専門医については、研修期間（会員歴）2年で受験可能とする。歯科については会員であれば受験資格を認め、当面の間研修期間（会員歴）は問わないものとする。

\*\*\*\*\*

11. 四日市看護医療大学臨床検査学科 細胞検査士養成課程 から 四日市看護医療大学 看護医療学部 臨床検査学科細胞検査士コース へ名称変更の依頼（細胞検査士委員会 加藤久盛）

名称変更について可決された。

12. 第54回細胞検査士資格認定試験の採点を外部委託した場合の経費について（細胞検査士委員会 加藤久盛）

経費が976,800円（消費税込み）かかることについて承認された。



13. 細胞検査士資格認定試験施行細則変更について（制度審議委員会 宮城悦子）  
細則において「四日市看護医療大学臨床検査学科 細胞検査士養成課程」の記載を「四日市看護医療大学 看護医療学部 臨床検査学科細胞検査士コース」に変更することが可決された。

14. 各種委員会構成を決定する際の申し合わせ事項改定案について（制度審議委員会 宮城悦子）  
「なお、原則として幹事は書記を兼ねる」という記載を加えることが可決された。

15. 2020 年度決算案 総会案内一式（総務委員会 森井英一）  
公益社団法人日本臨床細胞学会総会招集通知一式の内容が提示され、提示された内容で可決された。

以上で本理事会の議題が終了し、川本雅司 副理事長の閉会挨拶をもって本理事会を終了した。

2021 年 6 月 5 日

この議事録が正確であることを証します。

理事長 佐藤 之俊



監事 長村 義之



監事 佐々木 寛



監事 土屋 眞一

